

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	三重大学	整理番号	1-3-051
応募テーマ	主として教育方法の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	社会のニーズに即した人間性豊かな医師養成 —地域社会を学びの場にして—		
申請単位	学部単位		
申請担当者	津田 司		
<p>(取組の概要)</p> <p>三重大学の教育目標である『「感じる力」、「考える力」、「生きる力」がみなぎり、地域に根ざした国際的にも活躍できる医師を育成する』には、従来の知識詰め込み型講義と見学型臨床実習中心の教育のみでは限界があり、学生が地域社会の現場に出て自ら体験し悩み考え、自分の力で問題を解決し人と触れ合うことが必要である。</p> <p>本学部では全国に先がけて平成 7 年度から地域の病院での臨床実習を実施してきたが、現在は関係教育施設群(病院 38 施設、診療所及び保健福祉施設 30 ヶ所)に拡大して診療参加型臨床実習を実現している。また、診療参加を促進するため、コア診療科での実習期間を各々 4～8 週間確保し、その他に、①臨床教授制度の導入、②ガイドブック作成、③継続的評価システムの構築、④大学内及び関係教育施設との教育の質の均一化、⑤FD、⑥安全性の確保と学生へのオリエンテーション、⑦4 年次までの準備教育の充実などの工夫を凝らしている。</p> <p>このように大学のみならず地域社会の現場での on-the-job training を徹底しているので、教育目標に合致し、社会のニーズにマッチした人間性豊かな医師を養成できるようになってきた。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>医学教育を受けて都会での就職が強いなか、地域社会への就業を目的としている三重大学の「地域社会を学びの場」とした医師養成が評価されました。また、早期からの診療参加型実習などの教育改革にも取り組んできました。臨床教員制度の導入、診療参加型実習ガイドブックの作成、医学医療教育開発推進センターや地域の医療機関との連携による実習の実施、学期毎の学生の能力評価制度は「特色ある教育」として評価できるものです。今後は、「癒しの心」の理解を深めるための教育の成果を、どのように測定し評価するのかその方法の開発が期待されます。</p>			